

令和4年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

- 1 開催日時 令和4年10月6日(木) 10:00～10:35
- 2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 対象施設 健康の森花岡プラザ、花岡公園、花岡農村環境改善センター

4 出席者

(1) 選定評価委員会

- | | | |
|------|-------|-----------------|
| 委員長 | 舘山公 | (企画部次長) |
| 副委員長 | 工藤拓実 | (総務部次長) |
| 委員 | 竹内紀人 | (青森中央学院大学教授) |
| 委員 | 桃野敬 | (東北税理士会青森支部税理士) |
| 委員 | 泉宏明 | (環境部次長) |
| 委員 | 土岐政温 | (都市整備部次長) |
| 委員 | 大久保綾子 | (教育委員会事務局教育次長) |

(2) 施設所管課

(健康福祉課)

- | | |
|-----|------|
| 課長 | 新宅雅之 |
| 副参事 | 猪股慎一 |
| 主査 | 木村昌晃 |

(都市整備課)

- | | |
|----|-------|
| 課長 | 沢田和則 |
| 主幹 | 佐々木一成 |
| 主査 | 堰野端隆綱 |

(農地林務課)

- | | |
|----|------|
| 課長 | 嶋守亮 |
| 主幹 | 木村誠 |
| 主事 | 小堀修嗣 |

(3) 制度所管課(財政課)

- | | |
|-----|-------|
| 副参事 | 阿部有一郎 |
| 主査 | 阿部ゆき |
| 主査 | 櫻田博光 |

5 案 件 指定管理者候補者の選定について

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名 称 株式会社秋田東北ダイケン
- ・住 所 秋田県秋田市中通二丁目2番32号
- ・代表者 代表取締役 高井 行則

(2) 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた得点（96.76点）が最低基準点（77点）以上を獲得していること。

7 主な質疑内容

委 員：利用者を増やすために、ニュースリリースやネットを利用した情報収集をしているとのことだが、情報収集及び広報の専任スタッフはいるのか。

応募団体：スタッフは各々得意分野があるため、会社が担当を決めるのではなく、スタッフの自主性を重視している。

委 員：公共施設管理への会社としての参入意義はなにか。また、これまでの指定管理業務の中での反省点等はあるか。

応募団体：当社の主な事業はビルメンテナンスであるが、地方では今後、ビル建築が減っていくと考えているため、新たな事業として指定管理に参入した。当初考えていたほどの収益性は無かったものの、地域密着で事業をしていくことの面白さに気づき、現在は、地域に根差して長く事業を続けたいという思いで指定管理を続けている。

反省点としては、1～2年目は順調に利用者が増えていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で3年目から大幅に利用者が減り、当初考えていた自主事業等が思うように出来なかったこと。今後は徐々に事業を再開し、3施設の魅力を生かした施設づくりを進めていきたいと考えている。

委 員：マルチジョブ化による人件費の縮減をすることだが、そのような人員をすぐに確保できるものなのか。

応募団体：入社の際、部署や担当にかかわらず、すべての業務をスタッフ全員で進めていくという説明をしており、また、研修等でマルチジョブ化を進めている。

委員：障がい者雇用について積極的に取り組んでいるとのことだが、具体的な数字を示せ。

応募団体：現在の障がい者雇用率は1.85%であり、法定雇用率の2.3%を目指し、障がい者の雇用確保に努めている。

委員：食事提供のある指定管理施設も管理しているようだが、花岡プラザでも食事提供する考えはあるか。

応募団体：検討したことはあるが、設備や許認可に係る費用対効果を考えると現実的ではないため、花岡プラザでは食事提供をする予定はない。

委員：花岡プラザの利用者数は、コロナ前と比較して現在はどうなっているか。

応募団体：H30年度を100%とすると、R1年度は前年度から10%増、R2年度は前年度から20%減、R3年度は前年度から20%減、R4年度は前年度と同程度である。

委員：現指定管理者である候補者の現在の管理運営状況について、施設所管課としての印象はどうか。

施設所管課：直営で管理していた時と比べると、サービス等向上している部分が多い。トラブル等の対応も良く、管理内容やスタッフに対する利用者からの苦情もない。

委員：花岡公園の無料のキャンパススペースの利用者が増えているようだが、有料にする考えはあるか。

施設所管課：当該施設はキャンプ場ではなく、公園の一角のキャンプ可能なスペースであるため、有料にするには相応の整備が必要であり、現状での有料化は考えていない。

委員：管理運営のノウハウは、将来的に指定管理者が変わった場合でも引き継げるのか。

施設所管課：現在の館長及びスタッフは地元雇用であり、また、地域や近隣住民とのつながりを重視した管理運営を行っているため、指定管理者が変わった場合でも、引き継げると考える。